

2007年度後期「学生による授業評価」アンケート実施報告

「学生による授業評価」アンケート調査結果の概要を報告します。
データ分析は、集計・分析を委託した（株）日経リサーチによるものです。

調査概要

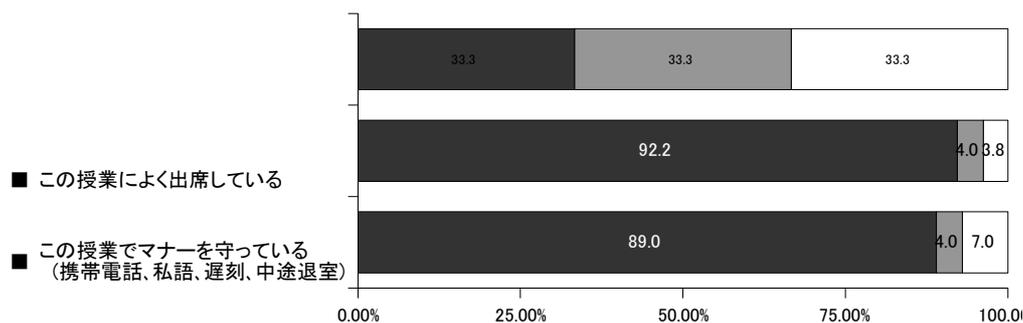
【調査実施時期】	2007年 12月10日(月)～ 2007年12月21日(金)
【調査対象】	姫路獨協大学の全学生
【調査方法】	授業出席者に対して配布、授業時に回収
【調査内容】	教員の授業、教員の授業姿勢、授業内容、授業満足度、受講態度の評価
【調査回収サンプル数】	合計 16,614サンプル (総配布サンプル数 29,989 回収率 55.4%)

学部別	学年別
外国語学部 4,593	1 年 6,459
ドイツ語学科 337	2 年 5,033
英語学科 2,232	3 年 2,981
中国語学科 401	4 年 1,739
日本語学科 971	
韓国語学科 336	性別
スペイン語学科 266	男 性 11,111
国際文化コミュニケーション専攻 50	女 性 5,335
	学生区分
法学部 3,312	学部生 15,386
経済情報学部 4,175	留学生 799
	その他 29
医療保健学部 3,219	
理学療法学科 935	
作業療法学科 704	
言語聴覚療法学科 258	
こども保健学科 887	
臨床工学科 435	
薬学部	
医療薬学科 859	

<受講態度について>

(回答者数=16,614)

- 『この授業によく出席している』についての自己評価は、「はい」が92.2%と圧倒的に高く、アンケート回答者の授業の出席率の高さがうかがえる。
- 『この授業でマナーを守っている(携帯電話、私語、遅刻、中途退室)』でも、「はい」は89.0%で9割近くがマナーを守っていることがわかる。



※以下の質問(1)~(15)の回答者数は一般科目のみで絞っています。体育科目は(1)~(3),(12)の質問文の内容を変更(斜字()内参照)して実施。

<教員の授業について>

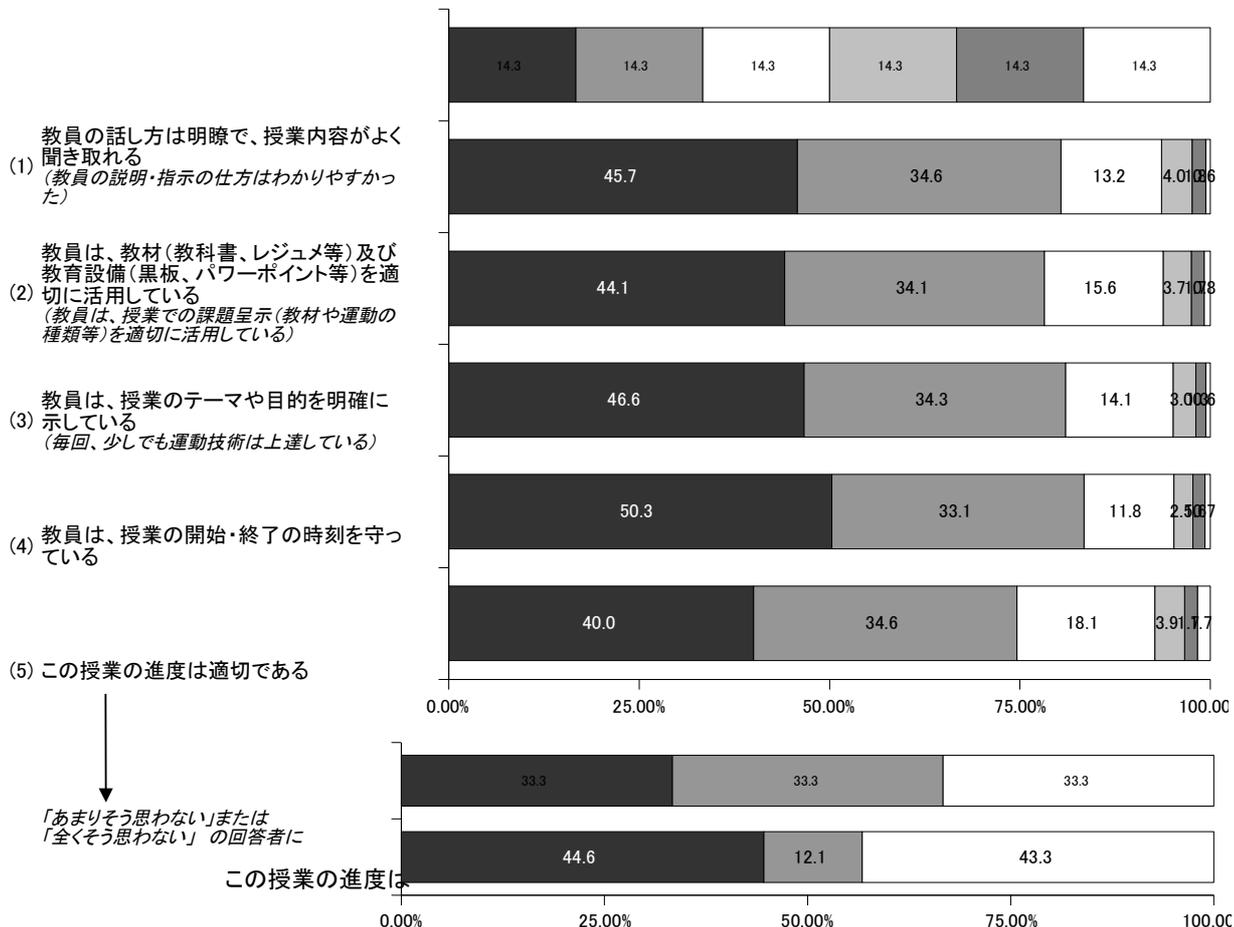
(回答者数=15,221)

○『教員は、授業の開始・終了の時刻を守っている』という質問に対し、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計は83.4%。8割以上が『教員の時刻厳守』を高く評価している。

○また、『教員の話し方は明瞭で、授業内容がよく聞き取れる』、『教員は、授業のテーマや目的を明確に示している』でも、「非常にそう思う」は45%を超え、評価は高い。

○『この授業の進捗は適切である』という質問に対し、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」の合計は5.6%。

その44.6%は授業の進捗を『速すぎる』としている。

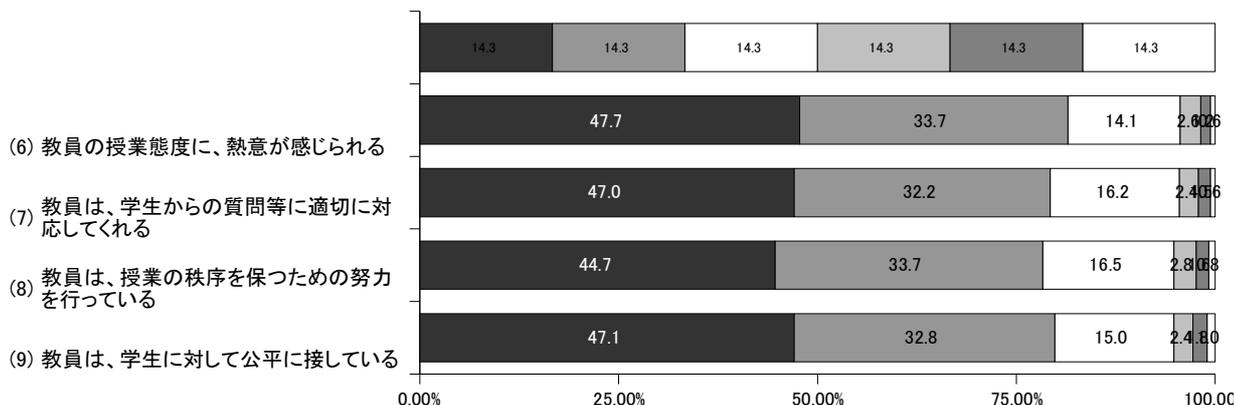


<教員の授業に関する姿勢について>

(回答者数=15,221)

○教員の授業に関する姿勢では、『教員の授業態度に、熱意が感じられる』という質問に対し「非常にそう思う」が47.7%と最も高い。次いで『教員は、学生に対して公平に接している』も、「非常にそう思う」が47.1%と高い。

○『教員は、学生からの質問等に適切に対応してくれる』、『教員は、授業の秩序を保つための努力を行っている』はともに、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が78%前後である。

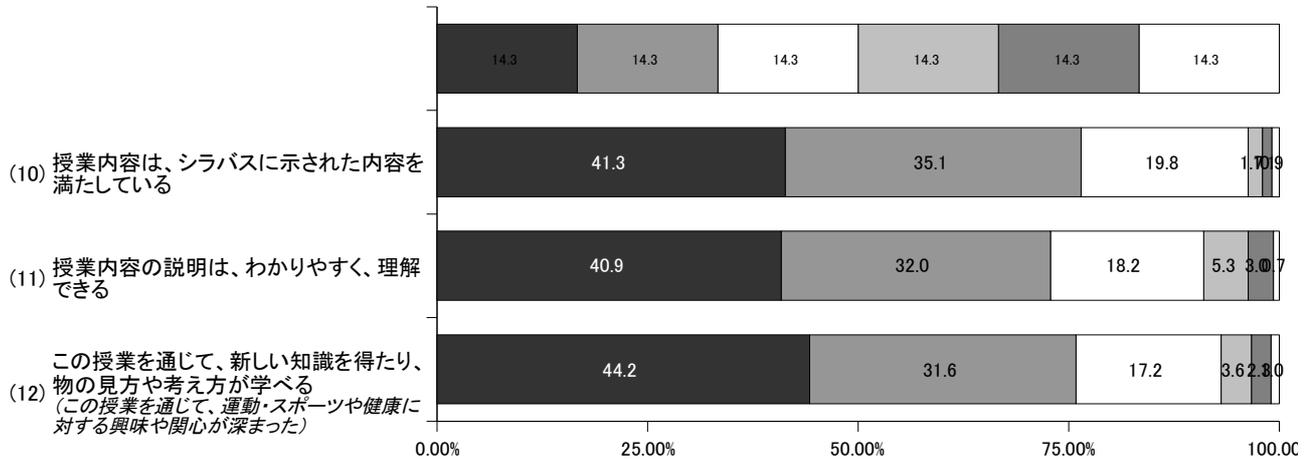


<授業内容について>

(回答者数=15,221)

○授業内容では、『この授業を通じて、新しい知識を得たり、物の見方や考え方が学べる』という質問に対し「非常にそう思う」が44.2%と最も高い。次いで『授業内容は、シラバスに示された内容を満たしている』も、「非常にそう思う」が41.3%と高い。

○『授業内容の説明は、わかりやすく、理解できる』では「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が72.9%と、他の授業内容項目に比べてやや低い評価となっている。

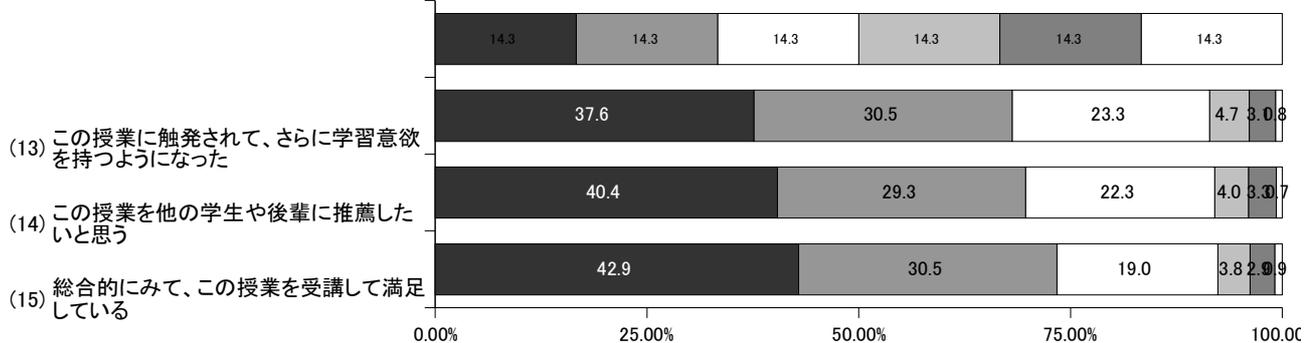


<授業に対する満足度について>

(回答者数=15,221)

○授業に対する総合満足度では、『総合的にみて、この授業を受講して満足している』という質問に対し「非常にそう思う」が42.9%と最も高い。

○『この授業に触発されて、さらに学習意欲を持つようになった』、『この授業を他の学生や後輩に推薦したいと思う』はともに、「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が69%前後でほぼ等しい。



■データ分析

全体データ

●受講態度について

授業への出席や受講態度についての自己評価は特に高く、学生の積極的な学習意欲が伺える。

●教員の授業について

教員の時間厳守に対する評価は8割を超え最も高く、授業のテーマや目的の明確化、教員の話方の明瞭さの評価も追従している。

●教員の授業に対する姿勢について

教員の授業態度の熱意や、学生への公平な対応についての評価は高い。さらなる満足度向上のためには、学生からの質問等に適切に対応し、授業の秩序を保つための努力を行うことが望ましい。

●授業内容について

授業内容はシラバスに示された内容を満たしており、授業を通じて、新しい知識を得たり、物の見方や考え方が学べると評価しているのは約7割。今後は一層わかりやすく、理解しやすい説明が期待される。

●授業に対する満足度について

現在、7割強の総合満足度をさらにUpさせるためには、学生の学習意欲や、後輩への推薦意思の向上が不可欠となる。

属性別満足度データ

◎学部別

全体的には外国語学部が最も高く、次いで医療保健学部、法学部、経済情報学部、薬学部の順となる。外国語学部を学科別にみると、スペイン語を筆頭に、中国語、国際文化コミュニケーション専攻、韓国語、ドイツ語、日本語、英語の順で評価が高い。また、医療保健学部を学科別にみると、言語聴覚療法、理学療法、作業療法、こども保健、臨床工の順で評価が高い。

◎学生区分・学年別

学部生に比べ、留学生の評価が高い。学年間では4年の評価が高く、1年の評価が低い。